(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月23日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒290-8550 住 所 千葉県市原市五井南海岸8番地1 氏 名 UBEエラストマー株式会社千葉工場 取締役工場長 長田 泰治 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0436-23-5116

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

事	業場	; Ø	名	称	UBEエラストマー株式会社 千葉工場
事	業場	の所	在	地	千葉県市原市五井南海岸8番地1
事	業	の	種	類	大分類:製造業 中分類:化学工業
産業計	ド廃棄物処 画	ル理計画 期		ける 間	令和 4年 4月~令和 5年 3月

産業廃棄物処理計画における目標値

	1	T	
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1530.1 t	全 処 理 委 託 量	1330.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200.0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	790.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理 委託 量	1055.1 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理 委託 量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	240.0 t
※事務処理欄			

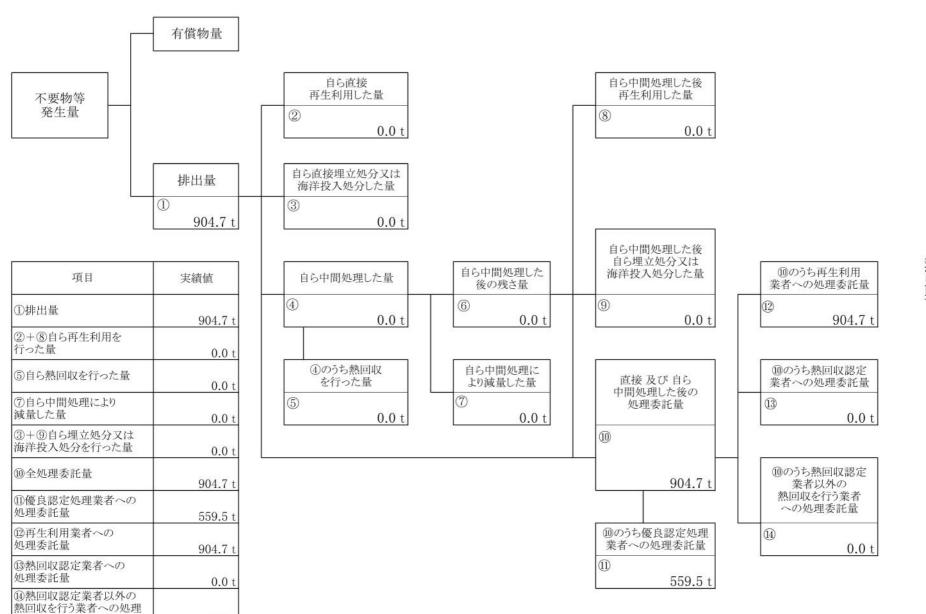
(日本工業規格 A列4番)

0.0 t

(産業廃棄物の種類:

汚泥

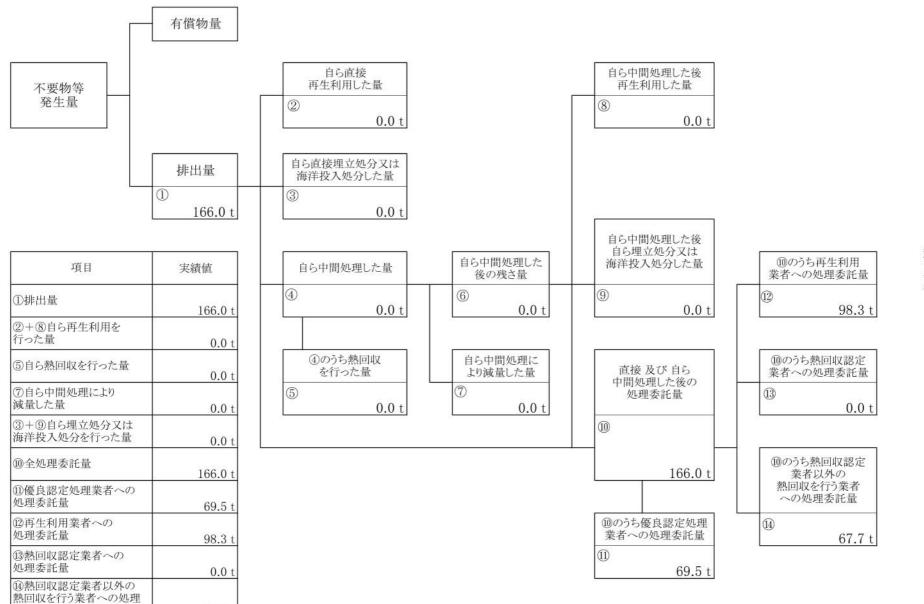




67.7 t

(産業廃棄物の種類:

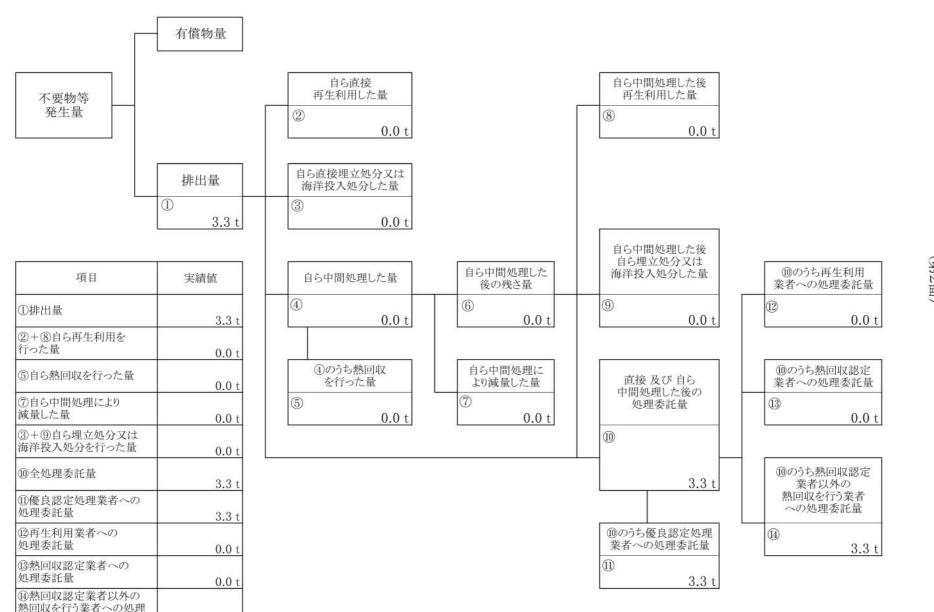
廃プラスチック類



(第2面)

3.3 t

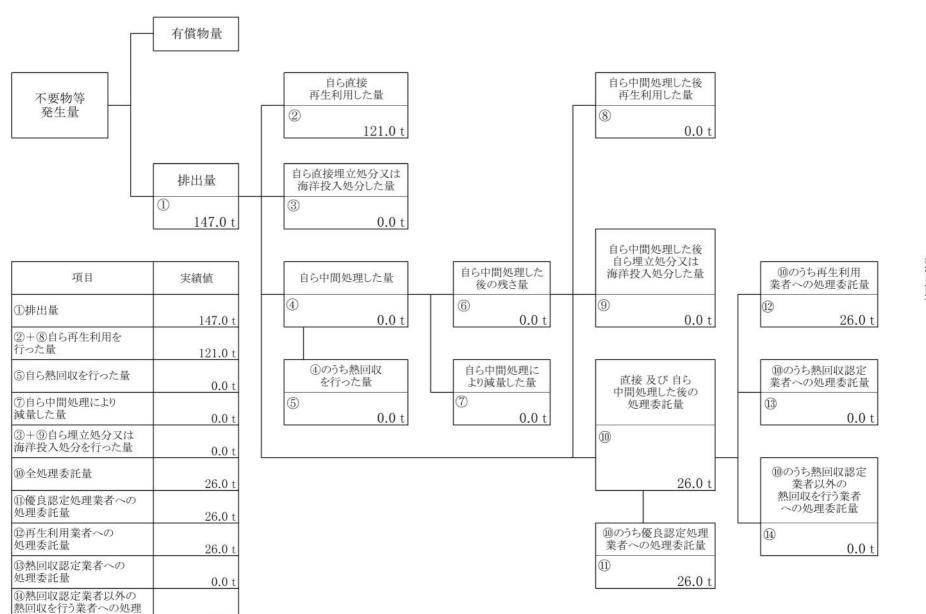




0.0 t

廃油

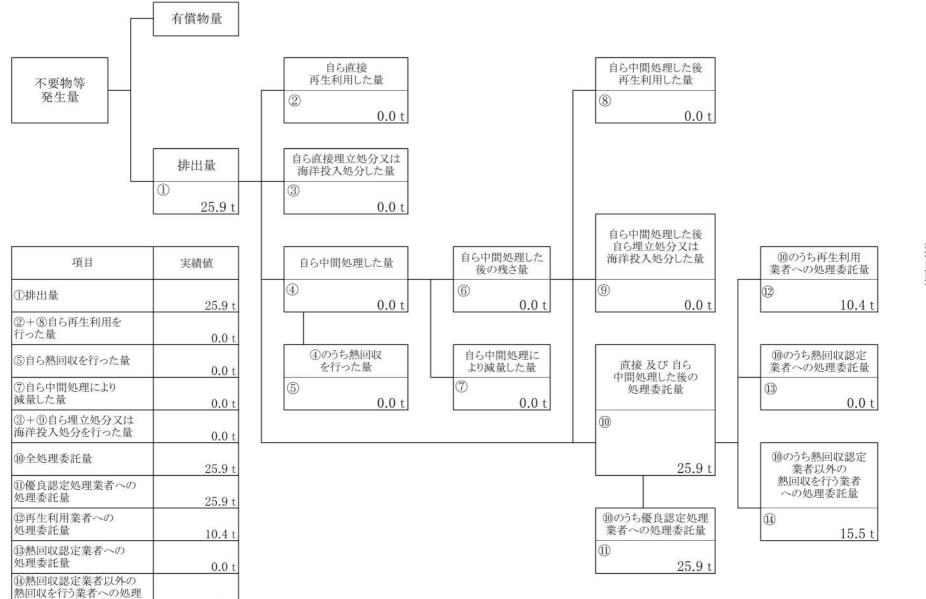




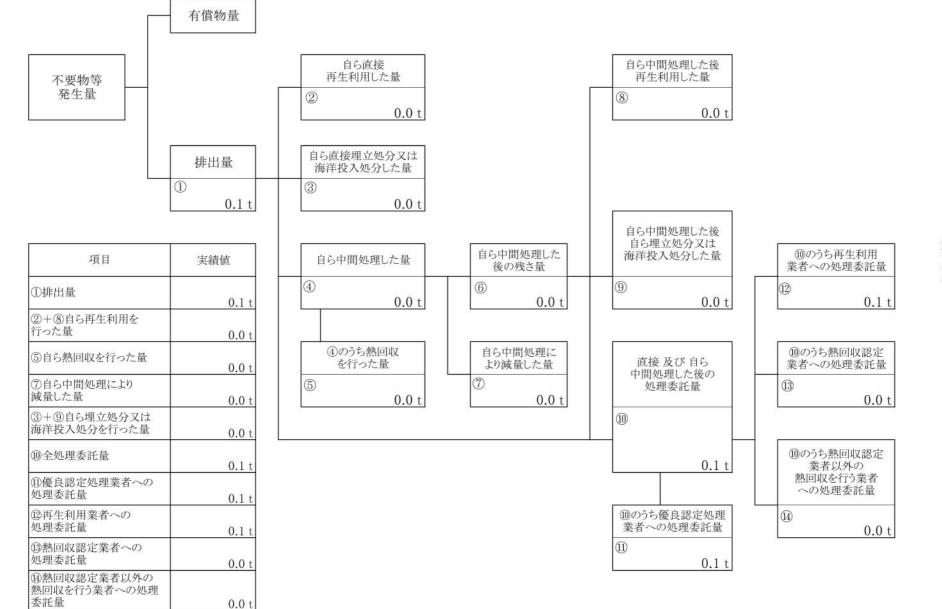
15.5 t

(産業廃棄物の種類:

廃アルカリ



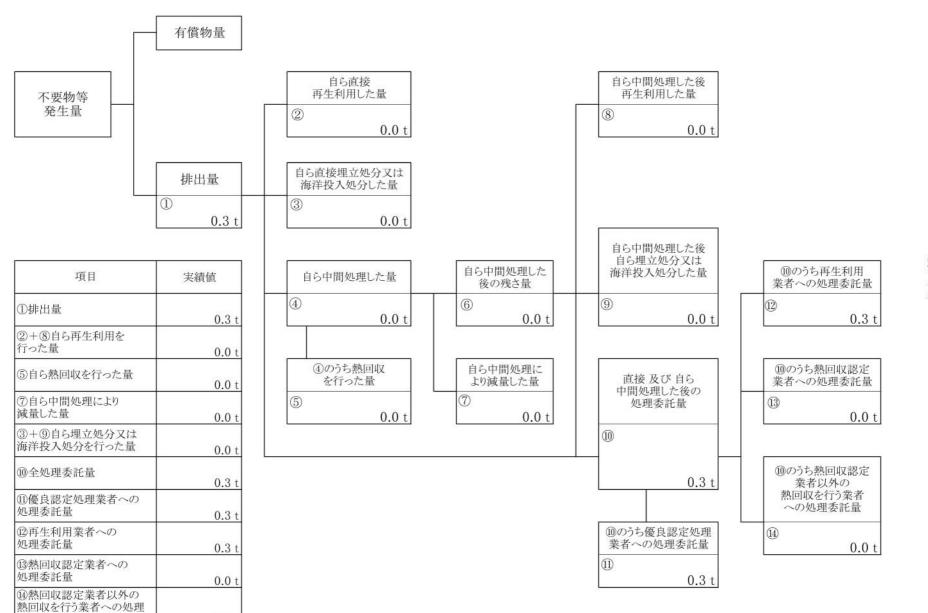
(第2面)



(第2面)

0.0 t

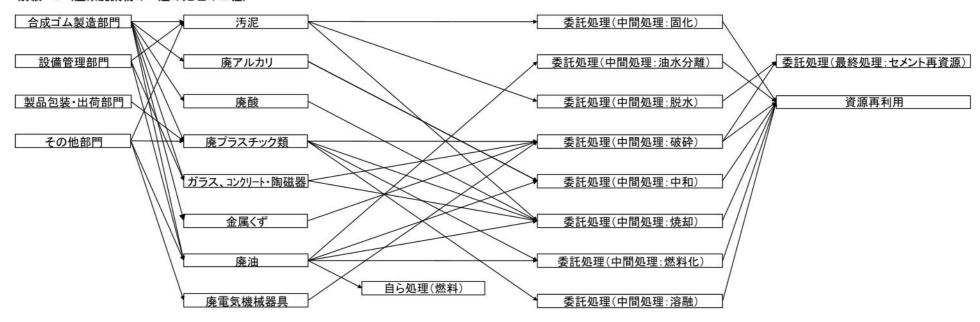




備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載 した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄(4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) (7)欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) (9欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記 入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙-1 (産業廃棄物の一連の処理の工程)



別紙-2 (産業廃棄物の排出の抑制に関する事項)

	【前年度(令和4年月	度) 実績 】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 類	ガラス、コンクリート・ 陶磁器	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃酸	廃電気機械器具
	排 出 量	905 t	166 t	3 t	147 t	26 t	0.057 t	0 t	0.32 t
①現状	(これまでに実施した)		ラスチック類				不可廃プラス	チック類につ	いては製品
	不良率を下げ発生量	を抑える努力	」を行った。木	くずは有価ラ	も却(逆有償)	を進めた。			
	/ D +#1								
	【目標】		I					T	
1	and the second control of the second control	2022-2023-2021	廃プラスチック	ガラス、コンクリート・	廃油	廃アルカリ	金属くず	r i. 34	
	産業廃棄物の種類	汚泥	類	陶磁器)発/田	1567 7073 7	亚属へり	廃酸	廃電気機械器具
	産業廃棄物の種類 排 出 量	汚泥 1000 t	類 180 t	陶磁器 5 t	99年/世 200 t	30 t	亚属\9	発 酸 0 t	廃電気機械器具 Ot
②計画		1000 t		5 t	200 t	30 t	0.1 t	0 t	0 t
②計画	排 出 量	1000 t 取組) 廃	180 t 油、汚泥に関	5 t しては、自ら	200 t 燃料消費やロ	30 t	0.1 t	0 t	0 t
②計画	排 出 量 (今後実施する予定の	1000 t 取組) 廃	180 t 油、汚泥に関	5 t しては、自ら	200 t 燃料消費やロ	30 t	0.1 t	0 t	0 t
②計画	排 出 量 (今後実施する予定の	1000 t 取組) 廃	180 t 油、汚泥に関	5 t しては、自ら	200 t 燃料消費やロ	30 t	0.1 t	0 t	0 t

別紙-3 (自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項)

	【前年度(令和4年度	き)実績 】	47	W-22		D-85	3		997.5		
111 #	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 類	ガラス、コンクリート・ 陶磁器	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃酸	廃電気機械器具		
	自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	121 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
①現状	(これまでに実施した)	(これまでに実施した取組) 廃油を自社ボイラーの燃料に利用した。									
	1										
	【目標】										
	【目標】 産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 類	カ´ラス、コンクリート・ 陶磁器	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃酸	廃電気機械器具		
(O=1 ===		汚泥 0 t			廃油 150 t	廃アルカリ 0 t	金属<ず 0 t	廃酸 0 t	廃電気機械器具 0 t		
②計画	産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行っ	0 t	類 0 t	陶磁器	150 t	0 t		53905556578			
②計画	産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	0 t	類 0 t	陶磁器 0 t	150 t	0 t		53905556578			
②計画	産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	0 t	類 0 t	陶磁器 0 t	150 t	0 t		53905556578			

別紙-4 (自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項)

	【前年度(令和4年月	度)実績 】	.c. 20	55 - P.O		Trans.	55	53	233	
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 類	がうス、コンクリート・ 陶磁器	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃酸	廃電気機械器具	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄 物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した)	取組) 特に	なし							
Ť.	【目標】									
	【日標】	00	04 4/1 - 05		9	t doing	17		2000	
	<u>L日標</u> 産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 類	ガラス、コンクリート・ 陶磁器	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃酸	廃電気機械器具	
	The state of the s				廃油 0 t	廃アルカリ 0 t	金属<ず 0 t	廃酸 0 t	廃電気機械器具 0 t	
②計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った		類	陶磁器	ion-i	200		92	5446	
②計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄	0t 0 t	類 0 t	陶磁器 0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
②計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄 物の量	0t 0 t	類 0 t 0 t	陶磁器 0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
②計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄 物の量	0t 0 t	類 0 t 0 t	陶磁器 0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

別紙-5 (産業廃棄物の処理の委託に関する事項)

	【前年度(令和4年度)	実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 類	ガラス、コンクリート・ 陶磁器	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃酸	廃電気機械器具
	全処理委託量	905 t	166 t	3 t	26 t	26 t	0.057 t	0 t	0.32 t
	優良認定業者処理業 者への処理委託量	560 t	70 t	3 t	26 t	26 t	0.057 t	0 t	0.32 t
①現状	再生利用業者への処 理委託量	905 t	98 t	0 t	26 t	10 t	0.057 t	0 t	0.32 t
0018 (800-818)	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	68 t	3 t	0 t	16 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取	組) リサ	イクル化を目	指し、中間処	埋及ひ最終	·処分万法をネ	ぎ属した冉生	利用業者を対	選定した。
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 類	がうス、コンクリート・ 陶磁器	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃酸	廃電気機械器具
	全処理委託量	1000 t	180 t	10 t	100 t	40 t	0.1 t	0 t	0 t
	優良認定業者処理業 者への処理委託量	500 t	140 t	10 t	100 t	40 t	0.1 t	0 t	0 t
2計画	再生利用業者への処 理委託量	900 t	50 t	0 t	100 t	5 t	0.1 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	50 t	140 t	10 t	0 t	40 t	0 t	0 t	0 t
,	(今後実施する予定の耳 める。	文組) 引	続きリサイク	ル化を目指し、	中間処理》	及び最終処分	方法を考慮し	て処理業者	の選定を進